



ねぎの栽培管理について ～病害虫対策と高温対策～

安定したねぎの収穫に向けて、夏から秋にかけて発生が懸念される病害虫や高温対策のポイントについてまとめましたので、参考にしてください。

大里農林振興センター 農業支援部
熊谷市久保島1373-1
TEL. 048-526-2210 FAX. 048-526-2494

①ネギネクロバネキノコバエ

・ 幼虫がねぎの茎盤部や葉鞘部に寄生し集団で食害します。

- ・ 地上部に症状は出にくいのですが、食害が激しくなると外葉が枯れ、生育が悪くなります。
- ・ 発生は気温の低下する9月以降ですが、幼虫がいる地中深くの茎盤部まで農薬を届かせるために、土寄せ前に防除を開始しましょう。
- ・ 生育不良株がある場合には、

③シロヤキササギコトワ

・ 症状の特徴が幼虫の生育ステージによって異なります。若齢幼虫では白い表皮だけになつて折れ、草丈が短くなり被害が目立ちます。老齢幼虫では葉に穴をあけ、途中で葉身を食い切り、外部に出てきて摂食します。

・ 土寄せは、断根を伴う作業です。盛夏に行うとねぎが弱り、病気や欠株につながるため、避けましょう。

・ 株元の滞水を防ぐため、定植溝は、可能な限り埋め戻しを行うとともに、明きよや排水溝を設け、ほ場の滞水を防

④ 高温対策

農薬による防除は土寄せ前の9月頃から行いましょう。過去の栽培において本病が発生したほ場では、耕種的防除や土壤消毒による防除を組み合わせ、総合的な防除を行いましょう。



写真：シロイチモジヨトウ
幼虫による食害

るよう)に、土づくり、予防中心の体系防除及び天候に応じた臨機応変な管理が重要です。以上の対策を組み合わせて安定生産に取り組みましょう。

・株元の滞水を防ぐため、定植溝は、可能な限り埋め戻しを行うとともに、明きよや排水溝を点検し、ほ場の滞水を防ぎましょう。

近年、気候が大きく変動し害虫の発生を予測し辛くなっています。天候不順に対応でき

水稻の収穫量と品質に悪影響を及ぼす力、ハノ須、

近年、
カメムシ類による
水稻の被害が
増大しています！



埼玉県マスコット 「コバトン」

草刈り時期をずらすこと
で、例年より雑草が繁茂す
る可能性がありますが、ご
理解とご協力をお願ひいた
します。

水稻の収穫量と品質に悪影響を与えるカメムシ類は、河川等の雑草で越冬しています。稲穂が出る時期に河川等の草刈りを行うと、より多くのカメムシ類を水田に呼び込むことになってしまいます。このため、その期間における河川等の草刈りを極力避ける取組を実施

お知らせ

7月	8月	9月
草刈を避ける期間		

☆モナ・カサンドラ

★今月のあなたの運勢★ 8月  乙女座 8/23~9/22

【全体運】騒がしかった状況が次第に収まっていきます。判断に迷うことが多いです。

たら成り行きを見守って◎。下旬は【幸運の食べ物】葉ト白ガラシ。

